

三次・庄原支部

MIYOSHI・SHOBARA

だより

広島県看護協会三次庄原支部会員数

保健師	11名	(入会率 14%)
助産師	36名	(入会率100%)
看護師	747名	(入会率 66%)
准看護師	33名	(入会率 8%)
会員合計	827名	(入会率 51%)

理事・役員紹介



ご挨拶

広島県看護協会
支部担当理事 **佐藤 幸江**
[市立三次中央病院]

令和7年度より、広島県看護協会三次・庄原支部担当理事に就任いたしました。

本年6月、2040年に向けた看護の将来ビジョンが発表されました。変化する社会や地域の中で、私たちには看護の持つ力を十分に発揮し、人々のいのちと暮らしを守り支えていくことが期待されています。県北の看護職の皆様が、専門職として共に成長し、連携を取りながら地域医療に貢献できますよう、微力ながら支部活動の支援に尽力してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



ご挨拶

三次・庄原支部
支部長 **寺本 辰美**
[庄原赤十字病院]

平素より広島県看護協会三次・庄原支部の活動にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

三次・庄原支部では地域のネットワーク推進と看護職の確保と定着、質向上に向けた様々な活動を実施しています。地域に赴き地域のニーズにこたえる「まちの保健室」、質向上のための学習会、地域と繋がる研修会など、次世代を担う若い会員の方々が積極的に参加できる支部活動を展開していきます。どうぞよろしくお願いいたします。

新任役員紹介



総務担当 **中村 久美子** [市立三次中央病院]

今年度より総務を担当させて頂くことになりました。看護の質向上に関する事や地域看護事業などご指導頂きながら頑張っていこうと思います。会員の皆様にも協力して頂く事業もあります。よろしくお願いします。



教育担当 **山本 美子** [広島県立三次看護専門学校]

令和7年度から教育担当となりました山本です。近隣の病院の皆様方には平素より実習等でお世話になっております。微力ではございますが、皆様のお力添えを頂きながら人材育成に尽力して参ります。どうぞよろしくお願いいたします。



財務担当 **笹本 祐一郎** [三次病院]

この度、財務の担当をさせていただくことになりました。わからない事ばかりや不慣れである為、ご迷惑お掛けしますが、支部活動に貢献出来るよう頑張ります。ご指導よろしくお願いいたします。

三次・庄原支部役員



- 前列左より：日高・佐藤・寺本・松本・中村
- 後列左より：山本・三河内・大石・下山・笹本・廣田
- 右上円内：内藤

役員一同支部活動が、
会員の皆様にとって有意義なものになりますよう
頑張ってお参りますのでご協力よろしくお願いいたします

地域のトピックス

ハピネスフェスタ

ビバーラ花の里病院 大石 歩美

三次・庄原支部の看護事業の地域連携推進事業の一環として、2024年11月17日に三次社会福祉協議会主催のハピネスフェスタに参加しました。43組の施設や業者が出店され、当支部は対面式で行いました。内容はセルフハンドマッサージ・広島かんごちゃんパネル・健康相談・看護・介護の資料配布をおこないました。ボディローションを使用したのハンドマッサージは、多くの方に参加してもらいました。「血行が良くなり

身体が温かくなった」「よく寝られそう」などコメントをいただき、かなり好評でした。広島かんごちゃんパネルは、顔出しできるように工夫し子供達に人気で写真を撮られる家族が多く見られました。

総勢116名の方が来て下さり、支部の活動を知っていただくよい機会となりました。今後もこのような地域密着のイベントに積極的に参加し、地域住民の健康増進のお役に立てるよう取り組んでまいります。



飛び出す！ 出前講座

庄原市立西城市民病院 内藤 由記

庄原市立西城市民病院は、地域と病院が健康の大切さを共有できる場として「飛び出す出前講座」を行っています。様々な職種による多彩な講義内容となっており、医師・看護師・歯科衛生士・理学療法士からの講義では健康や介護における知識の向上、認知症予防

講義では体操の実践など市民参加型の活発なもの等、大変喜ばれています。これからも、地域のニーズに合わせた出前講座の開催を行い、皆さまが健康でよりよい生活が継続できるよう取り組んでいきます。



事業報告 ～令和6年度後半から7年度～

社会経済福祉研修会 「自分たちの病院の魅力発信」

社会経済福祉担当

日高 誉子 [三次地区医療センター]

内藤 由記 [庄原市立西城市民病院]

「自分たちの病院の魅力発信」をテーマに5施設のパネリストの方が発表後、グループワークを通して、情報共有や意見交換を行いました。グループワークに発表者が参加することで、より活発な意見交換が行われました。

また、64名と沢山の方に参加いただき、例年若い方・経験年数の少ない方の参加率が低いことが課題でしたが、この度、経験年数10年未満の方が18名参加してくださいました。発表施設だけではなく、開業医の看護師、保健所の保健師、看護学生などの参加もあり充実した

研修会となりました。アンケート内容からは「県北にもこんな魅力のある病院が沢山あることが知れて良かった」「自分の職場の魅力について再発見することが出来た」とのうれしい感想がありました。

令和7年度の研修では「自分たちの地域の魅力と看護職としてできること ～この町で働きたい暮らしたい～」と題して、地域をよく知る行政の方に、三次・庄原の魅力を発信していただきます。これからも、三次・庄原支部では、看護師の雇用促進と定着を目指し取り組んでいきます。



令和7年度事業予定

実施年月日	事業	場所
令和7年6月25日(水)	看護研究サポート研修会	市立三次中央病院
令和7年7月19日(土)	多職種連携会議研修会	庄原グランドホテル
令和7年7月26日(土)	BLS研修会	庄原赤十字病院
令和7年7月27日(日)	BLS研修会	市立三次中央病院
令和7年7月31日(木)	進路相談会	庄原赤十字病院
令和7年10月11日(土)	社会経済研修会 「自分たちの地域の魅力と看護職としてできること ～この町で働きたい暮らしたい～」	庄原赤十字病院
令和7年11月8日(土)	組織強化研修会	庄原赤十字病院
令和7年12月	支部だより発行	
令和8年2月21日(土)	多職種連携会議研修会	みよしまちづくりセンター
令和8年2月28日(土)	看護研究発表会	市立三次中央病院

New Face!

頑張っている新人看護師紹介!



看護師 渡部 輪 [市立三次中央病院]

就職して4か月が過ぎました。配属された2階病棟は、幅広い疾患の方が入院されるため、日々分からないことが多く、戸惑いや不安も感じています。しかし、分からないことは実地指導者や先輩方に相談しながら患者さんと向き合っています。特に2階病棟は重症患者さんが多く、モニターやルート類、ドレーンなど様々なものが繋がっています。その中でも治療だけでなく、そこで生活されている患者さんや、面会に来られるご家族の思いにも寄り添えるよう自分にできることを探しています。まだまだ分からないことが多いですが、忙しい中でも洞察力に優れ、患者さんの思いに寄り添い、「その人らしさ」を尊重できるような看護師になりたいと思います。

看護師 藤井 悠乃 [庄原赤十字病院]

循環器病棟に配属されて4ヶ月が経ち、業務には少しずつ慣れてきました。しかし、急変に直面することも多く、怖さや不安を感じるとともに、命を預かる責任の重さを日々痛感しています。そのような中、先輩方のご指導のおかげで、知識や技術が身につく、自信を持って業務に取り組める場面も増えてきました。周囲の支えのもとで日々働いていることに深く感謝し、患者さんの経過や方向性を見据えた看護ができるよう努めていきます。



編集後記

地域の方の健康と暮らしを支える県北の看護師の取り組みを知っていただけたのではないのでしょうか。これからも支部活動を通して、皆さまが安心して暮らせるよう頑張っていきます。 社経：内藤

[発行日] 令和7年12月1日発行

[発行責任者] 寺本 辰美

[発行所] 公益社団法人広島県看護協会 三次・庄原支部
〒727-0013 広島県庄原市西本町2-10-2 OKUDA/ハウス101
TEL/FAX:0824-72-5015 E-mail: s-miyoshi@nurse-hiroshima.or.jp